

SILVA 1-2-3 システム

SILVA コンパスが、「コンパスの代名詞」とまで言われるように世界のアウトドア市場を席巻したのは以下に説明する「SILVA 1-2-3 システム」にあります。驚くほど簡単でありながら、その利用価値は何もない自然の中では絶大な威力を発揮します。

SILVA 1 - 2 - 3 SYSTEM®

1



図1

2



図2

3



図3

4



図4

1. 地図上にコンパスを置き、「図1」のように、現在地と目的地の2点間を結ぶ線の上にコンパスのエッジ（左側）を合わせます。
2. コンパスカプセルを回し、カプセル内の「赤い矢印」（磁針の「赤」ではありません。）が地図上の「北」を向くようにします。（「赤い矢印」を「北」に向けるということは、それが地図上の「上」を向くということです。）こうすると、地図上の経線とカプセル内の「縦の線」が必ず平行になります。
3. コンパスを図のように持ち、体の前で水平を保ちます。その姿勢で、磁針の赤色側（北）がカプセル内の「赤い矢印」と重なるまで「体」を回します。この時のコンパスの「矢印」の向いた方向が「目的地の方向」を示していますので、「図3」のように目標となるものを見つけて、**必ず「この状態」を維持して「矢印」の方向に向かっていきます。**目的地に到着するまで、この操作を繰り返します。**この状態とは、磁針の赤色側（北）がカプセル内の「赤い矢印」と重なっていることです。**これが、**SILVAコンパスを使う上で一番大切なことです。そして、この使い方を「SILVA 1-2-3 システム」といいます。**
4. ミラ付照準コンパスの場合は、同様に操作をし、「図4」のようにコンパスを持ち、「鏡」の下の照準をのぞいて目標物を合わせ、「鏡」に映った目標物への「方向」を読み取ることができます。



図1拡大



図2拡大